

市民とともに市政を変える。

下鴨神社のマンション建設、 二条城の第二駐車場計画は「撤回」を

京都市は、下鴨神社のマンション・大型倉庫建設を容認し、ゴリ押しで進めようとしています。また、世界遺産・二条城の敷地内で130本の樹木の伐採を前提とした観光バスの第二駐車場計画を打ち出しました。周辺住民の反対の声が大きく広がり、二条城の駐車場計画では規模の縮小に追い込まれています。

日本共産党議員団は、世界遺産の景観・住環境を守るため、住民のみならずとともに、下鴨神社のマンション建設、二条城の第二駐車場計画の「撤回」を求めています。



第二駐車場の建設予定地

四条通の渋滞解消へ マイカーの流入規制を

車の総量規制なしに進められた四条通の歩道拡幅工事で、4月に大渋滞が発生。日本共産党議員団は「渋滞解消へ、マイカーの交通規制を含む総合的対策を」と求めましたが、京都市は「規制ではなく、まず流入抑制を」との態度です。

四条通を通る市バスの一部ルート変更は「公共交通優先」に逆行するもの。東大路通の整備も、四条通の教訓をふまえ、根本的に再検討すべきです。



四条通高倉のバス停（東行き）

実効ある公契約条例は 賃金条項を入れてこそ

京都市は前回市長選の公約でもある「公契約基本条例」を提案しましたが、労働者の報酬額の最低限度額を定める「賃金条項」が入っていないもの。日本共産党議員団は、「賃金条項」を明記するなどの「修正案」を提案しましたが、「修正案」は否決され、原案に賛成しました。

引き続き、「賃金条項」を定め、適正な労働環境確保と中小企業の受注機会拡大をめざす実効ある公契約条例とするために、関係者とともに全力をあげています。



「市民の宝」・敬老乗車証制度の 改悪を許すな

京都市は住民サービス切り捨ての「京プラン」の具体化として、「市民の宝」である敬老乗車証制度を、一回乗るたびに100円程度払う「応益負担」の制度に改悪しようとしています。これに対し、「敬老乗車証を守ろう」と市内の各行政区で署名・リレー宣伝などが粘り強く取り組まれてきました。

日本共産党議員団は、「応益負担」導入をやめよと毎議会で追及しています。



「敬老乗車証を守れ」の署名を京都市に提出

不正流用疑惑の 大西議員は、 議員辞職を

NPO法人「田中セツ子京都結婚塾」会計の不正流用疑惑で告発された大西ケンジ議員。日本共産党議員団は、「大西議員を公認した自民党の責任は

重大」と申し入れるとともに、京都市や市議会としての責任ある対応を求めてきました。法人理事長の参考人招致や京都市による立ち入り調査で、「カラ購入」「カラ出張」などの事実が明らかになり、

同NPO法人に「改善命令」が出されるとともに、11月10日のくらし環境委員会で大西議員の参考人招致が実現しました。しかし、法人理事長と大西市議の陳述の食い違いが明らかになり、疑惑は深まっています。

大西議員は、不正流用疑惑の説明責任を果たし、すみやかに議員を辞職すべきです。また、同NPO法人の婚活事業に特別の肩入れをしてきた市長の責任も重大です。



2013年8月26日付市長サイト